

『緑地設計案件が景観賞受賞』

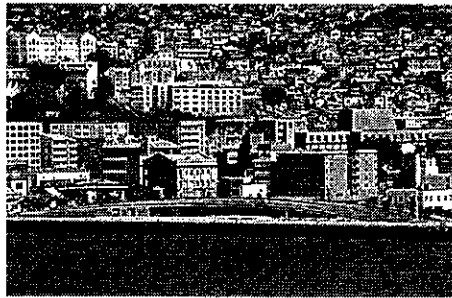
オリエンタルコンサルタンツは11日、同社が緑地設計を行った「長崎港松が枝国際ターミナルビル」で、第17回長崎市都市景観賞の大きな建部門を受賞した。

長崎市都市景観賞は、自然環境を生かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練されたまちづくりを寄与する建築物などに対し贈られる。

緑地設計案件が景観賞受賞

オリエンタルコンサルタンツ

長崎港松が枝国際ターミナルビルは、「長崎市都市景観条例」に基づき、南山手から見下ろす長崎港の大景観を確保するため、ターミナルビルの高さを抑えた。水辺空間に低く配置された扇状のシンパルな建物は、屋上緑



化もなされ、周辺の芝生公園に溶け込み、気持ちのいい風を感じさせる。長崎港に降り立ったクルーズ客は、港から広がる視野の中に、市民が残した「旧香港上海銀行」など長崎ならではの街並みを発見するだろう。市民にとっても景観条例がもたらす大景観の効用を実感できる場所となっている。

「と高い評価を得ている。」
同社では、今回の受賞を機に、今後さらなる地域の歴史・文化を融合した観光振興・まちづくりを寄与する良質な公共空間のデザインを提供を目指し、国内外で社会に貢献できる、さまざまな事業展開を積極的に進めていく。